

施策評価シート

施策番号【1-2】

評価年度	令和6年度		事業実施年度	令和5年度	施策主管次長名	岡田珠見	
施策番号	1-2	施策名	心豊かな子どもを育てよう			総合計画掲載頁	66～69
主担当部名	教育部						
関連課名	学校教育課、こども政策課、こども相談課、生涯学習推進課						

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1		小中学校教育		R5	R10
指標名	「学校は楽しい」と思う児童生徒の割合			中間値	目標値
指標の定義	「学校は楽しい」と回答した児童生徒の割合(学校評価アンケート)			(小学校)95% (中学校)90%	(小学校)98% (中学校)93%
取組分野2		青少年健全育成		R5	R10
指標名	青少年健全育成に関する取り組みの市民満足度割合			中間値	目標値
指標の定義	「青少年健全育成」の取り組みに対する満足度割合(市民アンケート)			65%	70%
取組分野3				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野4				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野5				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					

2 成果指標 DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 小中学校教育							
	成果指標名	学校支援ボランティア登録者数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			人	36	32	49	63	62
			指標設定の考え方	地域の活力を学校運営に取り入れるため、学校支援ボランティア登録を推進する。				
	対象	市民及び学生	把握方法	学校支援ボランティアに登録した人数				

指標②	取組分野2 青少年健全育成							
	成果指標名	街頭啓発活動への参加者数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
			人	117	0	0	0	23
			指標設定の考え方	青少年が抱える問題の早期発見、早期指導のため、街頭啓発活動を実施する。				
	対象	市民	把握方法	街頭啓発活動への参加者数				

指標③								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

指標④								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標
			指標設定の考え方					
	対象		把握方法					

3 施策の評価 ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・心豊かな子どもを育てるため、市内の小中学校では、35人学級の実施や少人数指導など、児童生徒一人一人の教育的ニーズを満たす、きめ細やかな教育を実践している。今後は個別の支援が必要な児童生徒への対応の拡充が重要になる。また、安全・安心・快適な環境づくりを進めるため老朽化した施設の改修や各種設備の整備に取り組んでいる。 ・一方、青少年健全育成推進協議会や子ども会、ジュニアクラブなどの活動を通して、様々な体験活動、伝統行事に参加し、地域社会の中で大人や異年齢と関わりながら、青少年の健やかに成長するよう、地域活動の支援をしている。また、メディアの普及により、青少年本人の自覚がないまま犯罪に巻き込まれたり、いじめにつながるケースも増えてきている。	
	成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民 ・家庭・学校・地域の三者が連携して行う話し合いや各種の実践を通して、積極的に児童生徒や青少年と関わりをもち、地域ぐるみで学校教育と青少年の健全育成を支える。 行政 ・学校教育を通じて心豊かな子どもを育てるため、保護者や地域の組織と連携して開かれた学校づくりを進める。また、学校教育に必要な施設の整備など教育環境を充実させる。 ・地域において青少年の健全育成のための様々な活動が展開されるよう、環境づくりを進めるとともに、青少年の健全育成に関する団体等との連携を深める。
近隣市町との比較	・学校支援ボランティアの学校数当たりの人数は、比較が可能な日進市、東郷町のいずれよりも多い。 ・青少年補導員による補導活動に関して、豊明市、日進市、東郷町でも類似の見守り活動を実施。豊田市では警察署が類似事業を所管している。	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
令和4年度以前の活動	・GIGAスクール構想により整備されたICT機器の活用を図るため、教育研究員によるICT活用指導案集を作成し、実践事例の周知を図り、機器を有効活用した授業づくりを支援した。 ・地域とともにある学校づくりのため、学校運営協議会の設置を4中学校と1小学校に広げ、各校の実情に合わせた活動を支援した。 ・青少年健全育成では、青少年健全育成推進協議会による街頭啓発活動や青少年の補導活動の取組の他、「心の電話相談」を実施した。他にも、少年の主張大会の開催やポスター等作品募集などを通じて青少年への啓発活動を実施した。
令和5年度の活動内容	・学校における対応困難事案に対し、こどもの最善の利益を守るため、また、法の専門家によるの助言をもとに対応することで教員の負担軽減を図るため、豊明市、日進市、東郷町と共同でスクールロイヤーを設置した。 ・こども一人一人の学校・学級適応感を客観的に把握し、個別の支援の必要なこどもの早期発見・早期対応を行うために、「hyper-QU」による診断や講師を招聘して校内研修を実施した。 ・地区青少年健全育成推進協議会等の活動支援を行うとともに、少年の主張みよし市大会の開催、ポスター等作品募集を通じて、青少年への啓発活動を実施した。 ・青少年補導活動では、夏祭りにおける特別補導を再開するとともに、補導員による地域補導活動を実施した。また「心の電話相談」を引き続き実施した。
積み残し課題等	・こどもの自己有用感を高めるため、学び合い、学びを深める授業を実施したり、個に応じたきめ細やかな指導支援をしたりする必要がある。また、地域・家庭・学校が連携してこどもと共に成長する気風を高めるための取組をさらに推進する必要がある。施設整備の面では大規模改修などを通じた老朽化に対する継続的な取組が必要となっている。 ・青少年の健全育成に関しては、地域の担い手等が徐々に減りつつあり、青少年健全育成活動に対して、理解や協力を求めるのが難しい状況となりつつある。また、これまでの新型コロナウイルス感染拡大により、事業開催が一部に限られたため、青少年の健全育成に対する意識の希薄化が懸念されている。

4 活動計画 ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和6年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・こどもが授業や行事、地域など様々な場や機会 で学び合うことで、互いの思いを尊重し合ったり自己有用感を高めたりすることができる教育活動を推進する。 ・また、地域全体で次代を担う人材を育成するため、青少年健全育成に関する団体活動を引き続き支援していく。 ・子どもたちの安全・安心な居場所づくりと、学習・運動・交流・体験の場して令和5年度から放課後こども教室(わくわくたいけんルーム)を開設しており、令和6年度には全小学校に開設している。令和7年度以降も魅力的なプログラムを展開できるよう努めていく。 ・青少年補導員による定期巡回を継続実施するとともに、街頭啓発活動も引き続き行い、青少年が非行防止や犯罪に巻き込まれないよう、家庭、学校、地域が一体となった青少年の健全育成に取り組む。 ・地域でこどもを育てるために、令和7年度までに各小中学校に「学校運営協議会」及び「地域学校協働本部」を設置し、地域学校協働活動を推進する。 ・休日の部活動の地域移行を進めるため、部活動検討委員会により継続して検討を行うとともに、指導者の確保と仕組みづくりを進める。
施策目標達成に向けての令和6年度の活動内容	・現行の「みよし市教育振興基本計画」の成果を検証・評価をもとに、「次期みよし市教育振興基本計画(仮称)」の令和8年度の施行に向け、本年度から2年間で策定を進めていく。 ・施設面では南中学校の大規模改修事業を引き続き実施し、学校施設の老朽化対策や生徒増へ対応した施設整備に取り組んでいく。 ・青少年補導員による商業施設・駅・公園などの巡回や街頭啓発、青少年の健全育成推進に関する作品募集などの他、地域の青少年健全育成団体などへの支援を実施する。 ・放課後こども教室を市内全小学校に開設し、児童に様々な体験・活動ができる環境を整備する。 ・学校運営協議会、地域学校協働活動を推進するために、各校の会議に参加して助言したり、他校や他市町の先進的な取組の事例を紹介したりする。